2018年度第3四半期決算の概要

(2018年4月1日~2018年12月31日) ご説明資料



"特殊"だけど"身近"な「特殊鋼」

















目次

1. 2018年度第3四半期決算の概況

損益の概要 業績推移(四半期) 経常利益の変化要因 (2017/4-12月期→2018/4-12月期、2018FY2Q→2018FY3Q) セグメント別損益、セグメント別損益推移(四半期) 貸借対照表 D/Eの推移 (参考)設備投資・減価償却費の推移

2. 2018年度業績予想等

2018FY通期業績予想 配当について 経常利益の変化要因 (2018FY前回予想→2018FY今回予想)

3. 参考資料

財務指標の推移 その他のトピックス

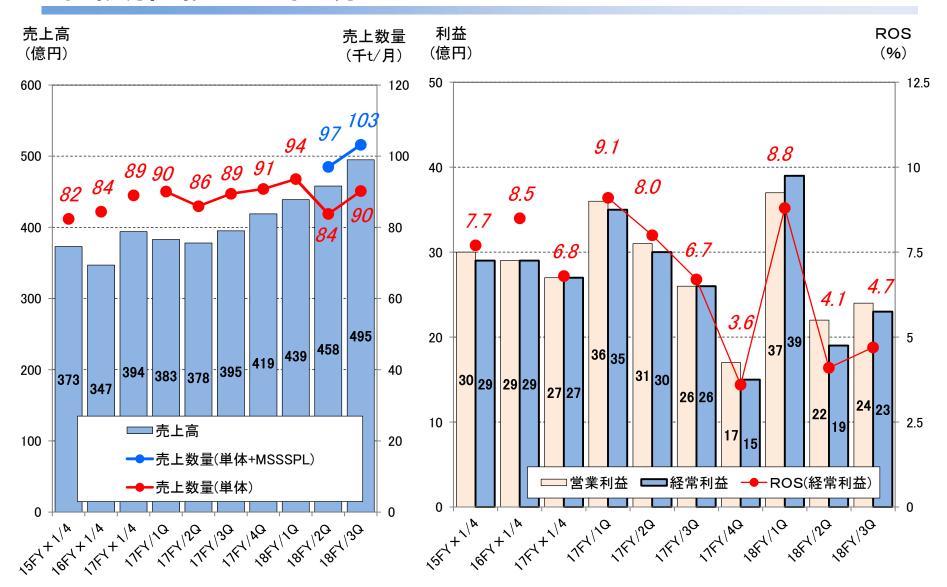
損益の概要

(単位:億円)

		−12月期 A)		-12月期 3)	対前年同期 (A)(B)		
	金額	売上高 比率(%)	金額	売上高 比率(%)	金額	増減率 (%)	
売上高	1,392	100.0	1,156	100.0	+237	+20.5	
営業利益	82	5.9	92	8.0	-10	-11.1	
経常利益	81	ROS 5.8	91	ROS 7.9	-11	-11.5	
純利益(注1)	72	5.2	60	5.2	+12	+19.3	
売上数量(千t) (単体+MSSSPL)	881	97.9 /月	796	88.5/月	+85	<i>+9.4</i> _{/月}	
(内 単体)	802	89.1	796	88.5 _{/月}	+6	+0.7 _{/月}	

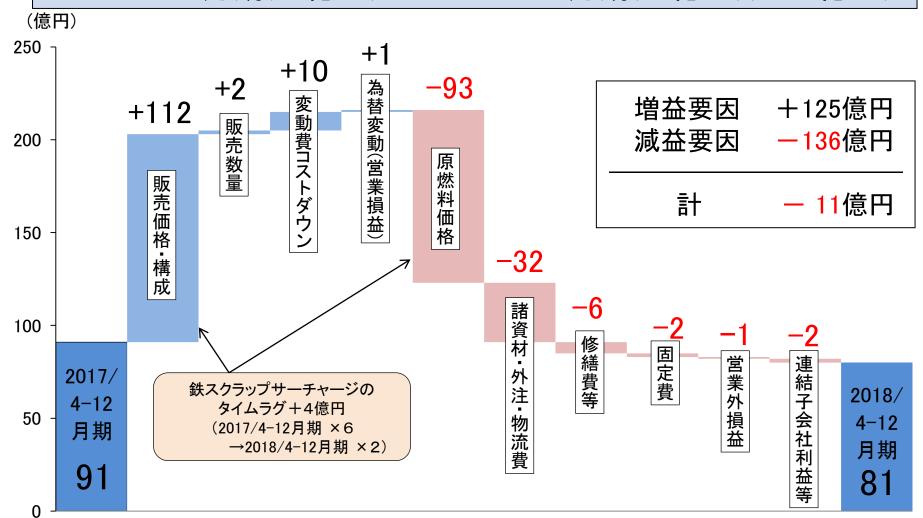
(注1)親会社株主に帰属する四半期純利益。2018/4−12月期には、2018年6月のインドのMahindra Sanyo Special Steel Pvt. Ltd. (MSSSPL)連結子会社化にともなう段階取得に係る差益15億円を含む。

業績推移(四半期)



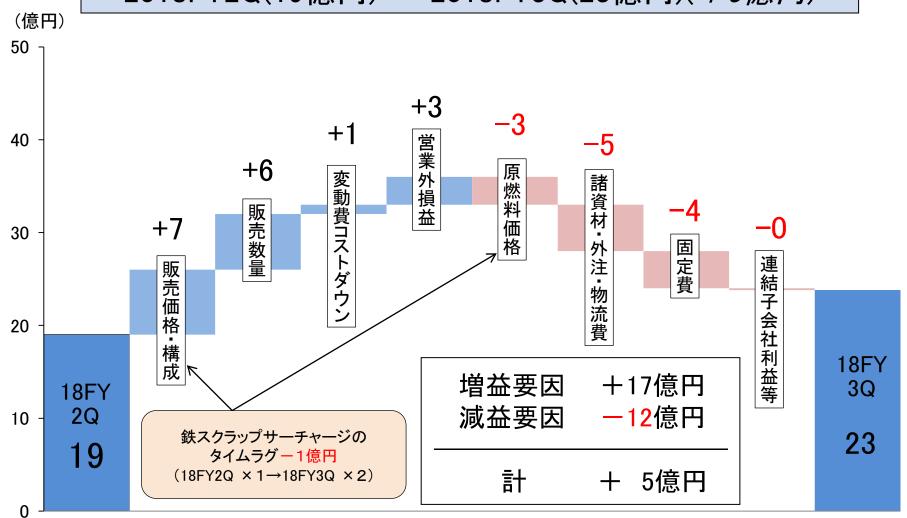
経常利益の変化要因

2017/4-12月期(91億円)→ 2018/4-12月期(81億円)(-11億円)



経常利益の変化要因





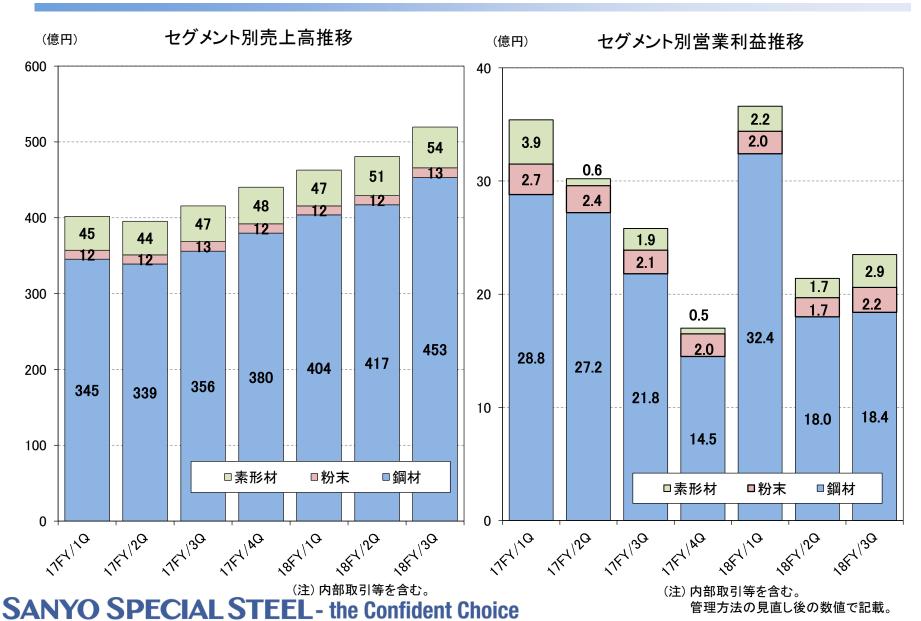
セグメント別損益

(単位:億円)

	2018/4-12月期(A)			2017	7/4−12月其	引(B)	対前年同期(A)一(B)			
	売上高	営業利益	売上高 営業利益 率(%)	売上高	営業利益	売上高 営業利益 率(%)	売上高	営業利益	売上高 営業利益 率(%)	
鋼材(注)	1,274	69	5.4	1,040	78	7.5	+233	-9	-2.1	
粉末(注)	37	6	15.7	37	7	19.9	+0	-1	-4.2	
素形材(注)	152	7	4.4	136	6	4.8	+16	+0	-0.4	
小計	1,463	81	5.6	1,213	92	7.5	+250	-10	-1.9	
その他	11	0	2.4	10	0	0.4	+1	+0	+2.0	
調整額(注)	▲82	1		▲ 68	1		-14	-0		
連結計	1,392	82	5.9	1,156	92	8.0	+237	-10	-2.1	

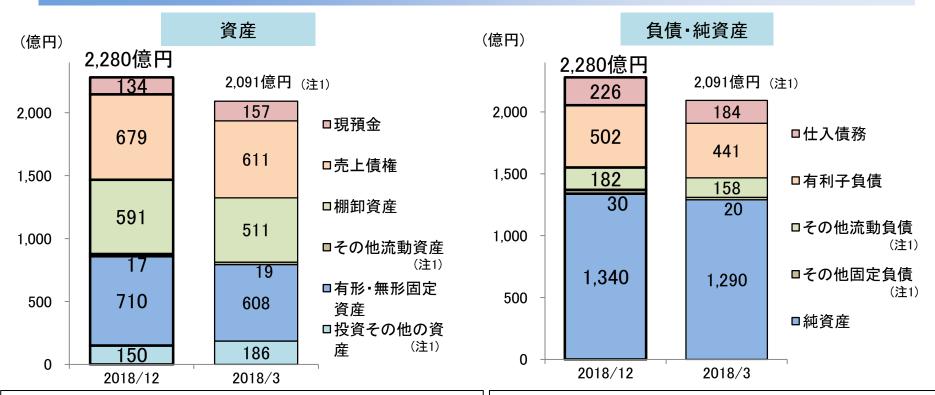
⁽注) 2018FYより、管理方法の見直しに伴い、「調整額」に含めていた棚卸資産の調整額を各報告セグメントの営業利益に配分。 2017FYのセグメント情報についても、変更後の算定方法に基づき記載。

セグメント別損益推移(四半期)



管理方法の見直し後の数値で記載。

貸借対照表



資産の主な増減 +189億円

売上債権 + 68億円:新規連結影響 +47億円、

数量差異 -15億円、単価差異等 +36億円

棚卸資產 + 80億円:新規連結影響 +44億円、

数量差異 -12億円、単価差異等 +48億円

有形・無形 +101億円:新規連結影響 +95億円 等

固定資産

負債・純資産の主な増減 +189億円

仕入債務 +42億円:新規連結影響 +43億円 等 有利子負債 +61億円:新規連結影響 +49億円、

借入金の返済とCP発行(単体) +12億円 等

純資産 +50億円:四半期純利益計上による利益剰余金増

+49億円 等

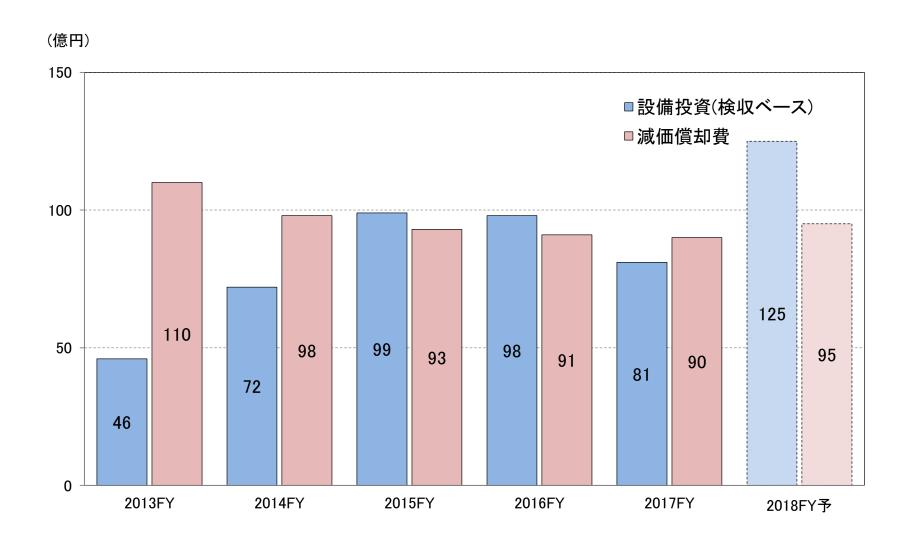
⁽注1) 税効果会計に係る会計基準の一部改正等を2018FYから適用しており、2017FYについても、当該会計基準等を遡って適用した後の数値を記載。

⁽注2) 新規連結影響は、2018年6月に子会社化したインドのMahindra Sanyo Special Steel Pvt. Ltd. (MSSSPL)に係るものであり、影響総額は、約146億円。

D/Eの推移



(参考)設備投資・減価償却費の推移



2018FY通期業績予想 2018年10月31日公表値を据え置き

(単位:億円)

	2018FY (A		201 (E	7FY 3)	対2017FY (A)一(B)		
	金額	売上高 比率(%)	金額	金額 売上高 比率(%)		増減率(%)	
売上高	1,850	100.0	1,575	100.0	+275	+17.5	
営業利益	100	5.4	110	7.0	-10	-8.8	
経常利益	95	ROS 5.1	107	ROS 6.8	-12	-10.9	
当期純利益(注1)	80	4.3	70	4.5	+10	+13.7	

(注1) 親会社株主に帰属する当期純利益

〈参考〉

売上数量(千t) (単体+MSSSPL)	1,181	98.5/月	1,069	89.1 _{/月}	+112	+ 9.4 _{/月}
(内 単体)	1,071	<i>89.3</i> _{/月}	1,069	89.1 _{/月}	+2	+0.2/月

予想(1月以降)の主要前提

・鉄スクラップ 29.0千円/t(姫路地区H2市況) ・原油(ドバイ) 60\$/BL ・為替 110円/\$

配当について 2018年10月31日公表値を据え置き

	2018FY 中間	2018FY 期末予想	2018FY 年間予想
当期純利益(注2)	51億円	29億円	80億円
1株当たり純利益 (注3,4)	157.1円	89.8円	246.3円
1株当たり 配当金(注3)	45.0円	26.5円	71.5円
配当性向(注4,5)	28.6%	29.5%	29.0%

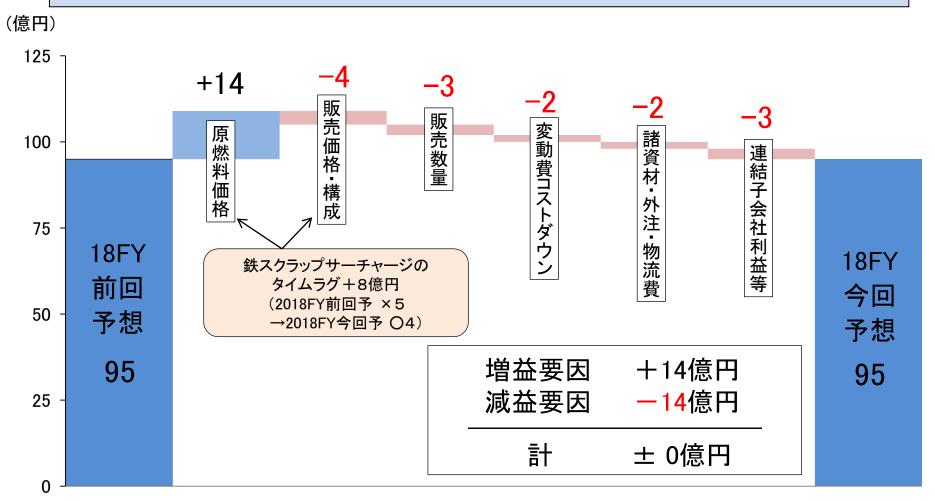
(参考)
2017FY実績
70億円
218.3円
58.5円 (中間33.5円、期末25.0円)
26.8%

- (注1) 2018FY中間配当の効力発生日は、2018年11月30日
- (注2) 親会社株主に帰属する当期純利益
- (注3) 2017年10月1日に株式併合(5株を1株)を実施。2017FY実績は、当該株式併合を踏まえて換算。
- (注4)2018FY予想については、2019年3月28日実施予定の第三者割当増資を考慮した期中平均株式数により算定。
- (注5) 配当性向は、1株当たり年間配当金を1株当たり当期純利益で除して算定した値を記載。

<配当方針> 連結配当性向25~30%程度を基準とする

経常利益の変化要因

2018FY前回予想(95億円) → 2018FY今回予想(95億円)(±0億円)



財務指標の推移

		2013FY	2014FY	2015FY	2016FY	2017FY	2018/ 4-12月期
ROE(自己資本当期純利益率)(注1)	%	4.1	6.1	6.6	6.6	5.6	7.4
ROS(売上高経常利益率)	%	4.2	5.7	7.7	8.5	6.8	5.8
ROA(総資産経常利益率)(注1,2)	%	3.4	4.8	6.0	6.5	5.4	4.9
自己資本比率(注2)	%	50.2	55.8	62.4	66.7	61.0	57.1
有利子負債(ネット)	億円	478	332	143	127	284	368
D/Eレシオ(ネット)(注3)	倍	0.46	0.29	0.13	0.10	0.22	0.27
1株当たり当期純利益(注4)	円/株	126.0	203.0	230.0	241.5	218.3	222.9
1 株 当 た り 純 資 産 (注 4)	円/株	3,167	3,498	3,483	3,797	3,961	4,044
期末従業員数(注5)	人	2,775	2,706	2,625	2,598	2,666	3,832

- (注1) 2018/4-12月期については、利益を年換算している。
- (注2) 税効果会計に係る会計基準の一部改正等を2018FYから適用しており、2017FYについても、 当該会計基準等を遡って適用した後の数値を記載。
- (注3) 有利子負債から返済に充当可能な現預金を差し引いた純有利子負債の、純資産に対する比率。
- (注4) 2017年10月1日に株式併合(5株を1株)を実施。当該株式併合を踏まえて換算。
- (注5) 2018/4-12月期については、2018年6月にMSSSPLを子会社化したことによる増加。

(1)当社の子会社化:国内外競争当局審査終了

■ 公正取引委員会審査の完了

1月18日、問題解消措置の実施を前提として、排除措置命令を行わない旨の通知を受領 海外競争当局の承認は昨年末までに取得済み

問題解消措置概要

(1) 設備譲渡

当社が所有する国内向け軸受用小径シームレス鋼管の圧延設備の一部持分 & 年間15千t(最大16千t)の使用権 を神戸製鋼所へ譲渡

(2) 商権譲渡 新日鐵住金及び当社の商権(年間計14千t)を神戸製鋼所へ譲渡

■ 今後のスケジュール

2019年2月28日 当社 臨時株主総会 (予定)

3月28日 当社が実施する第三者割当増資を新日鐵住金が引受け

→新日鐵住金が当社を子会社化(51%) (予定)

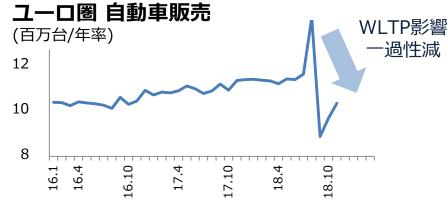
新日鐵住金が保有する全OVAKO株式を当社へ譲渡

→当社がOVAKOを完全子会社化 (予定)

新日鐵住金グループでシナジー100億円/年程度の発揮を目指す

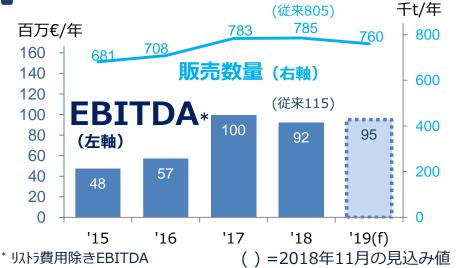


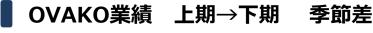
(2)OVAKO業績推移

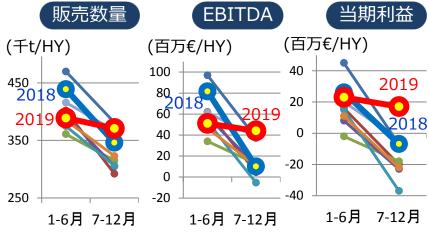


2018年9月の新燃費計測方法WLTP (国際調和ガス・ 燃費試験方法) 導入に伴う、自動車メーカーの認証取得 遅れにより、一時的に欧州の自動車販売が大幅下落。 2019年前半まで影響が続く見通し。

▮OVAKO 販売数量、EBITDA

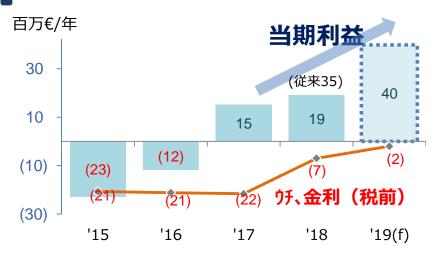






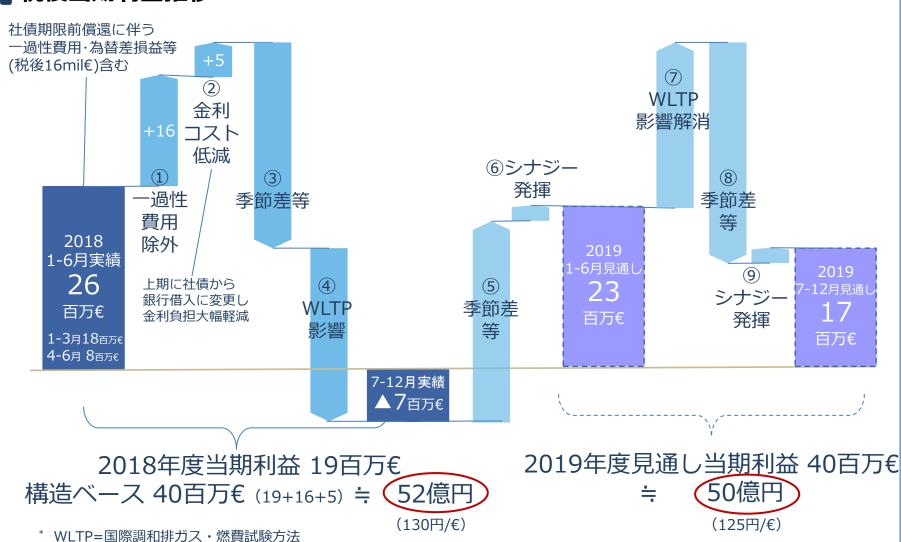
18下期、19上期はWLTP影響により数量・損益減

OVAKO 当期利益、負担金利



(3)OVAKO 2018年度実績·2019年度見通し当期利益

■税後当期利益推移



のれん償却

(ノンキャッ

シュ) 等

その他のトピックス

(4) 当社連結損益への影響イメージ

シナジーは6年目で効果全額が発現する 前提だが、2018年度に全額が発現した 場合のイメージを紹介 Cf. シナジー(構造ベース) 税前50億円以上=

税後35億円以上を目指す

cf.

2018年度実績

実力当期利益

52億円 (40m€,130円/€)

2019年度見通し

50億円 (40m€,125円/€)

2

OVAKO 当期利益

! **72**%増加 ^{(自己株除き} 75%)

第三者割当 增資 **24**百万株 増資資金で OVAKO株式 取得

当社 発行済株式数 **33**百万株 Cf. 2018年度見通し 実力当期利益

65億円

(マヒンドラ山陽 段階取得差益 14.6億円除く) ① 当社 当期利益 OVAKO利益は当社利益の 約**80%**(②÷①)

(3)

OVAKO利益と税後シナジー (注:のれん償却額を含まない)の 合計は当社利益の約**134%**

 $((2+3)\div 1)$

EPSの改善が見込まれる

(5)formnext2018に出展

- ・3Dプリンティングを中心とした最先端の技術が集う国際見本市。
- -2018年11月13日~16日にドイツ・フランクフルトで開催。
- (株)大阪チタニウムテクノロジーズと共同で出展。
- 3Dプリンター用金属粉末などをアピールし、多くの新規引き合いを獲得。





(6)個人株主向け説明会を開催

- •2019年1月に開催。
- ・2019年3月28日に予定している新日鐵住金株式会社による当社の子会社化および当社によるOvako社の子会社化についての理解を深めていただくことを目的に開催。
- •58名の個人株主が出席。様々な質問が寄せられ、今回 の子会社化への理解を深めていただいた。





グローバルな視点でものづくり。 🗘 山陽特殊製鋼株式会社

www.sanyo-steel.co.jp

(ご注意)

本資料の業績予想等は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に 基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異 なる結果となる可能性があります。いかなる確約や保証を行うものではあり ません。

